



2019年2月14日

各 位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セブ・テクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也
TEL 052-218-8785

2019年12月期の連結業績予想について

当社は、本日公表いたしました「2018年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の2019年度の連結業績予想について、当社上場後初めての営業利益以下の各利益の黒字を達成する予想となっております。

この予想の詳細については、本日公表いたしました「2018年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」及び「2019年12月期～2021年12月期 中期経営計画」に記載の通りですが、これらの資料に基づく2019年度の営業利益の黒字の達成の取り組みについて、お知らせいたします。

なお、当社は2018年12月期の営業利益及び営業キャッシュフローがマイナスとなることが確実となっており、2018年12月期の有価証券報告書の提出をもって上場廃止猶予期間入りとなる見込みです。

記

1. 【連結】2018年12月期の実績と2019年12月期の業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2018年度(実績)	292	△786	△796	△748	△28.51
2019年度(計画)	500	30	20	60	2.28
差額	208	816	816	808	—

(差額に対する説明)

・売上208百万円の増加要因は以下の通りです。

1) グラナテックのロイヤリティ収入の増加

- 2) H-1129 (WP-1303)、DW-1002 (日本、内境界膜染色) の開発進捗に伴うマイルストーン収入
- 3) DW-1002 (日本、白内障手術) のライセンスアウト達成による契約一時金の受領

・営業利益、経常利益の 816 百万円の増加要因は以下の通りです。

- 1) H-1337 の米国臨床試験終了に伴う研究開発費の減少
- 2) 役員報酬の減額、各種費用の見直しによるその他販売費及び一般管理費の減少

2018 年 12 月期実績の詳細及び 2019 年 12 月期の見通しにつきましては、本日公表の「2018 年 12 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。また、向こう 3 ヶ年の計画である「2019 年 12 月期～2021 年 12 月期 中期経営計画」も公表しており、その中期経営計画の中で、2019 年 12 月期のみを説明したものが本公表資料となっております。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

D.WESTERN THERAPEUTICS INSTITUTE

D. Western Therapeutics Institute

通期業績予想の補足資料

(2019年1月1日～2019年12月31日)

2019年2月14日

株式会社 デ・ウエスタン・セラピテクス研究所

<http://www.dwti.co.jp>



証券コード: 4576

中期の事業目標

持続的な成長を目指し、「事業領域の拡大」と「開発パイプラインの拡充」を推進

当社ビジョン「日本発の画期的な新薬を世界へ」の実現に向けた重点施策



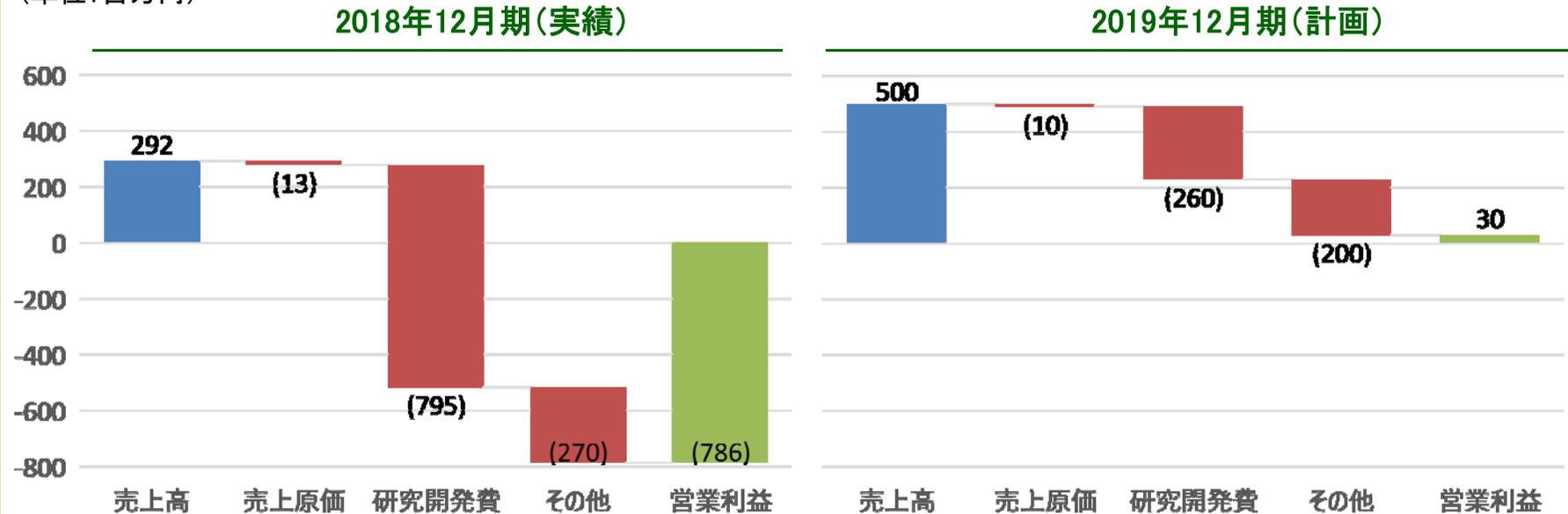
【2019年度の目標】： 営業利益の黒字の達成

【達成すべきイベント】

- H-1129 (WP-1303) P3試験開始 (1/10開始済)
- DW-1002 (日本、内境界膜染色) 国内製造販売承認申請
- DW-1002 (日本、白内障手術) ライセンスアウト
- グラナテックのロイヤリティ収入の増加

連結損益計算書

(単位:百万円)



前期との差額について

【売上高:増加要因】

- グラナテックのロイヤリティ収入の増加
- H-1129(WP-1303)、DW-1002(日本、内境界膜染色)の開発進捗に伴うマイルストーン収入
- DW-1002(日本、白内障手術)のライセンスアウト達成による契約一時金の受領

【研究開発費:減少要因】

- H-1337の米国臨床試験終了に伴う研究開発費の減少

【その他:減少要因】

- 役員報酬の減額、各種費用の見直しによるその他販売費及び一般管理費の減少

2019年度の売上高(計画値)

(単位:百万円)



【ロイヤリティ収入】

- ✓ グラナテック、DW-1002 (欧州) は過去の推移から算出

【マイルストーン収入】

- ✓ H-1129の国内P3試験開始 (2019/1/10開始済)
- ✓ DW-1002 (日本: 内境界膜染色) の申請

【契約一時金】

- ✓ DW-1002 (白内障手術) のライセンスアウト達成

	ライセンス交渉の進捗状況
2017年5月	事業譲受以降、当社においてライセンスアウト活動を開始
2018年8月	医師主導治験 (P3) 終了 → 契約候補先においてデータ確認

【その他】

- ✓ Glaukosからの研究費の受領等

ロードマップ

開発パイプライン 計画	業績予想への 織り込み有無	1Q	2Q	3Q	4Q
H-1129 P3試験開始	○	★ 1/10開始済			
DW-1002(内境界膜染色) 申請	○	時期未定			
DW-1002(白内障手術) ライセンスアウト	○	時期未定			
Glaukos共同研究 —	○	研究費		進捗状況により研究費 受領終了時期変更あり	
グラナテック、DW-1002(欧州) 上市	○	通期計上			
H-1129(海外)、H-1337(※) ライセンスアウト 等	×	交渉を推進			

※H-1337はAllystaを含め第三者と交渉

2019年度の売上原価・販管費(計画値)

(単位:百万円)



【売上原価】

- ✓ DW-1002(欧州)の九州大学に支払う費用

【研究開発費】

- ✓ 米国での臨床開発終了
- ✓ DW-1002(日本、内境界膜染色)の製剤開発等の費用の減少
- ✓ 創薬、基礎研究は従来通り推進(Glaukos等の共同研究を含む)

⇒上記により前期比大幅減少(▲67%)

【その他販売費及び一般管理費】

- ✓ 主に本社費用のため、必要経費を前期実績に基づき計上
- ✓ 役員報酬の減額、本社の減床等の各種施策により、経費削減

⇒上記により前期比▲25%

業績計画(連結)

(2019年2月14日公表)

【直近5年間の経営成績推移】

(単位:百万円)

	2015年(実績)	2016年(実績)	2017年(実績)	2018年(実績)	2019年(計画)
売上高	61	168	254	292	500
売上原価	-	5	7	13	10
販売費及び一般管理費	352	482	880	1,065	460
（研究開発費）	143	226	603	795	260
（その他）	208	255	277	270	200
営業利益	▲290	▲319	▲633	▲786	30
経常利益	▲295	▲304	▲668	▲796	20
親会社株主に帰属する当期純利益	▲296	▲253	▲1,563	▲748	60

【上場時からの経営成績推移】



※2009~2014年までは単体決算、2015年~連結決算となっております。



「日本発の画期的な新薬を世界へ」

デ・ウエスタン・セラピテクス研究所
D. WESTERN THERAPEUTICS INSTITUTE

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

株式会社 デ・ウエスタン・セラピテクス研究所

<http://www.dwti.co.jp> tel:052-218-8785